

ジュラク仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

ジョリパットノンフリーズ JPW-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1液水系アクリルシーラー (水で50~100% 希釈して使用)	18kg/缶	約135~240 m ² (水希釈量で 変動)
	<u>ジョリパットシーラー</u> <u>JS-410</u>	<u>1液溶剤系</u> <u>アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約75~100 m²</u>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系珪砂シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約80~106 m²</u>
主材	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ</u> (<u>ジョリパットノブリーズ JPW-100 シリーズ</u>) 標準色 <u>JP(W)-100T</u> (<u>...数字</u>) 特注色 <u>JP(W)-100</u> (<u>...英字、...数字</u>)	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約15 m ²
骨材	JF-1	寒水石(白竜) 1 厘	20kg/袋入り	約58 m ²

セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25 m²/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

ジョリパットノブリーズの使用目安温度は-6 ~ 10 度です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

< 主な施工道具 >

- ・リシガン(下塗り) 口径 4 ~ 6 mm
- ・ジュラクガン(上塗り) 口径 4 mm
- ・コンプレッサー 2.2 kW(3馬力)以上 (1台使用の場合)

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ(平滑)など

<ジュラク仕上げ施工方法>

1.シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	9~18%
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2.主材 下吹き

配 合	JP(W)-100シリーズ	20kg
	清 水	2~3%
塗 布 量	0.9kg/m ²	
吹 圧 力	5~7kgf/cm ² (0.51~0.71MPa)	
施工道具	リシンガン 口径 4~6mm	
できるだけ平滑になるように吹き付け。 凹凸が激しい場合、仕上がりが悪くなります。		

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

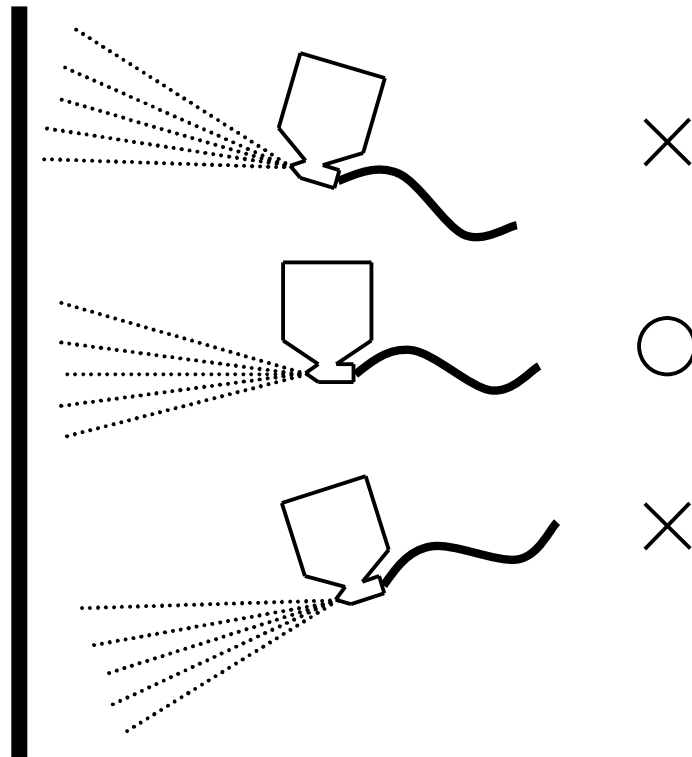
完全に乾燥したことを確認後、次工程に移って下さい。

3.主材 上吹き

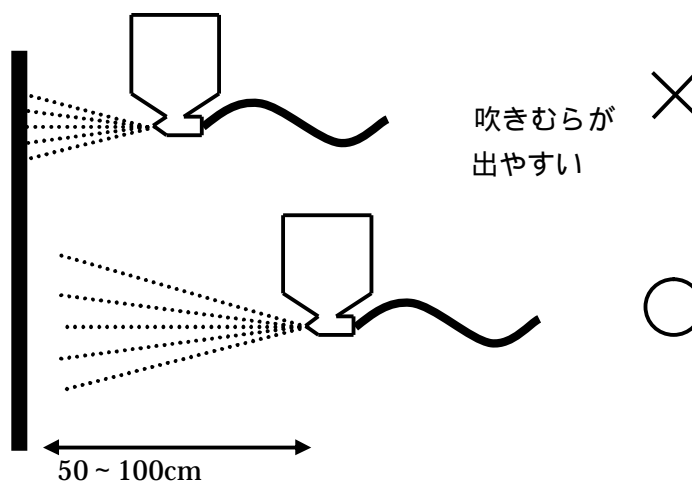
配 合	JP(W)-100シリーズ	20kg
	寒水石 1厘	15kg
	清 水	夏季 2~3%
		冬季 3~4%
塗 布 量	約0.8kg/m ²	
吹 圧 力	6~7kgf/cm ² (0.61~0.71MPa)	
施工道具	ジュラクガン 口径 4mm	
寒水石が細かく散るように吹き付ける。		

< 施工のポイント >

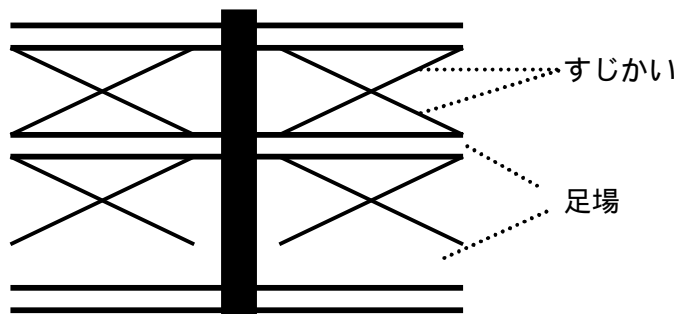
- ・吹き付け時、ガンは壁面にまっすぐ向けて吹くようにしてください。斜め吹きをしますと意匠(噴出す樹脂の玉の形状)が変わり、ムラなどにみえることがあります。斜め吹きが必要な場合は、吹き圧などで微調整して吹きつけてください。



- ・ガンを壁面に近すぎるとクレーターやムラが出来やすくなります。50~100cmが目安です。



足場のすじかい部分では、吹きムラがしやすい為、特に塗布量には注意。



- ・斜め吹きする部分が多くなります。
 - ・ガンと壁面との距離がとれないことがあります。
- ・気温(季節)に応じて水希釈量を調整してください(目安 15 以上夏配合、15 未満冬配合)。
水希釈量は仕上がりに影響しますので希釈両派厳守してください。
 - ・吹圧を高めにして吹き付けるようにしてください。吹圧が低いと粒状になり、きれいに仕上がりにません。
- < 施工の注意事項 >
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し吹きを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
 - ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
 - ・寒水石のかわりに珪砂等を使用しますと、仕上がり時の色が見本板と変わります。珪砂は使用しないで下さい。
 - ・気温 5 以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
 - ・冬季の 5 以下での施工の際は、ジョリパットノフリーズ JPW-100 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS - 410 をご使用ください。
しかしながら、-6 以下、降雨、降雪などの条件下では JPW-100 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
 - ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮ください。
 - ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。

JP(W)100-99-01
(JP(W)-100 ジュラク)

- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗淨水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上